

【日の出入り・月の出入り表】

2020年 11月

提供:国立天文台

日	日の出	南中時	高度	日の入り	月の出	月の入り	月齢 12:00	備 考
	時:分	時:分:秒	度	時:分	時:分	時:分		
1	6:39	12:04:42	42.3	17:30	18:04	6:53	15.3	天王星が衝※1
2	6:40	12:04:41	42.0	17:29	18:36	7:49	16.3	
3	6:41	12:04:41	41.7	17:28	19:13	8:45	17.3	文化の日
4	6:42	12:04:42	41.4	17:27	19:56	9:42	18.3	
5	6:43	12:04:43	41.1	17:26	20:44	10:38	19.3	おうし座南流星群が極大
6	6:44	12:04:45	40.8	17:25	21:38	11:32	20.3	
7	6:45	12:04:48	40.5	17:25	22:37	12:21	21.3	立冬(りっとう)※2
8	6:46	12:04:52	40.2	17:24	23:39	13:07	22.3	下弦
9	6:46	12:04:57	39.9	17:23	--:--	13:48	23.3	
10	6:47	12:05:03	39.6	17:22	0:44	14:25	24.3	
11	6:48	12:05:09	39.3	17:22	1:51	15:00	25.3	水星が西方最大離角※3
12	6:49	12:05:17	39.0	17:21	2:59	15:35	26.3	おうし座北流星群が極大
13	6:50	12:05:25	38.8	17:20	4:08	16:10	27.3	
14	6:51	12:05:34	38.5	17:20	5:19	16:47	28.3	
15	6:52	12:05:44	38.3	17:19	6:32	17:28	29.3	新月
16	6:53	12:05:55	38.0	17:19	7:46	18:14	0.9	火星が留※4
17	6:54	12:06:06	37.8	17:18	8:58	19:07	1.9	しし座流星群が極大
18	6:55	12:06:19	37.5	17:18	10:06	20:05	2.9	
19	6:56	12:06:32	37.3	17:17	11:05	21:07	3.9	
20	6:56	12:06:46	37.1	17:17	11:56	22:10	4.9	
21	6:57	12:07:01	36.8	17:16	12:39	23:12	5.9	
22	6:58	12:07:17	36.6	17:16	13:16	--:--	6.9	上弦 小雪※5
23	6:59	12:07:33	36.4	17:16	13:48	0:11	7.9	勤労感謝の日
24	7:00	12:07:51	36.2	17:15	14:16	1:08	8.9	
25	7:01	12:08:08	36.0	17:15	14:43	2:04	9.9	
26	7:02	12:08:27	35.8	17:15	15:10	2:58	10.9	
27	7:03	12:08:47	35.7	17:15	15:37	3:52	11.9	
28	7:04	12:09:07	35.5	17:14	16:06	4:46	12.9	
29	7:05	12:09:27	35.3	17:14	16:37	5:42	13.9	
30	7:05	12:09:49	35.1	17:14	17:13	6:39	14.9	満月(半影月食 食の最大18:42)

* 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなります。(最も大きく見えます) 内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※2 二十四節季の一つ 意味:冬の気配が感じられる。

※3 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。

※4 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動(順行)していくように見えますが、時に東から西へ移動(逆行)することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも「留」となります。

※5 二十四節季の一つ 意味:寒くなって、雨が雪になる。